

# 宇都宮 ビジョン Vision



あけましておめでとうございます。

新年の市長室では、将来にわたり活力ある発展が続く新たな成熟都市の実現に向けて、市長と市のマスコットキャラクターのミヤリーが、宇都宮のまちづくりについて対談しています。その内容を皆さんにご紹介します。

## 宇都宮の幸せ力・ブランド力・底力 アップ

あけましておめでとうございます。ミヤリー。今年はどういう1年にしたいと思っていますか。

昨年のゆるきやらグランプリで29位だったから、今年はもっと人気者になれるように頑張りたいな。

ずいぶん意欲的です。ね。でも目標を持つことはとってもいいことです。私は心豊かに健康でいられるように適度な運動を心掛けたいと思っています。

ところで、私たち一人ひとりに目標があるように、市にもまちづくりの目標があることは知っていますか。

市に目標があるの？

そうですね。今後、市の人口は、減少していくことが予想されていますが、子どもや働く人は減り、高齢者の割合が増え続ける

見込みです。このような、これまでだれも経験したことのない社会においても、みんなが幸せに安全で安心して暮らせるまちを目指しています。

そして、市では、「みんなが幸せに暮らせるまち」「みんなに選ばれるまち」「持続的に発展できるまち」という3つのまちづくりの目標を立てていますよ。

ふーん、どうやってその目標を達成するの？

市には、「総合計画」という計画があり、昨年3月に新しい計画を作りました。

この計画には、今後5年間のいろいろな取り組みがあり、それらを進めることで、目標の達成を目指しています。

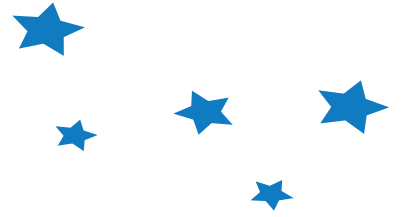
そうかあ。でもミヤリー人気者で忙しいし、毎日新しいことが多くて、5年は遠い未来な気がする。

刻々と社会は変化していきませんが、それを少しでも予測して、みんながキラキラ輝いている宇都宮になるよう、目標がどれく



まちづくりの重点課題

- ① 子育て支援の充実
- ② 高齢者の生活の質の向上
- ③ 安全で安心な生活環境の創出
- ④ 環境調和型社会の構築
- ⑤ 総合的な交通体系の確立
- ⑥ 魅力ある拠点の創造
- ⑦ 都市の個性づくりと発信
- ⑧ 次代を築く人材の育成
- ⑨ 産業力の強化
- ⑩ 地域が主体となったまちづくり



まちづくりの戦略的ターゲット(将来のまちの状態)

幸せカアツプ 戦略プラン

- 1 子どもたちの「笑顔の輪」拡大プロジェクト
- 2 からだ元気 ころ豊かに 健康長寿 応援プロジェクト
- 3 「安全社会・安心生活」創出プロジェクト
- 4 ひとや自然にやさしい「環境都市」実現プロジェクト
- 5 まちの骨格となる交通体系確立プロジェクト

みんなが幸せに暮らせるまち

ブランドカアツプ 戦略プラン

- 6 50万都市の中核機能・交流機能強化、活力向上プロジェクト
- 7 都市ブランド確立・アピールプロジェクト

みんなに選ばれるまち

底力カアツプ 戦略プラン

- 8 高い志を持って、未来へ羽ばたく「宮っ子スピリット」養成プロジェクト
- 9 産業力底上げ「未来産業創造」プロジェクト
- 10 みんなでつくる「大好き地域」実践プロジェクト

持続的に発展できるまち

都市空間の姿

ネットワーク型コンパクトシティ  
(連携・集約型都市)



市には、子育てしやす  
く高齢者が元気に暮ら  
せるまちづくりや、地球に  
優しい環境づくり、次の世  
代を築く人材を育てていく  
など、多くのまちづくりの  
課題があります。

それらの課題に対応でき  
るよう、10の戦略プロジェ  
クトを定めています(左の  
図の通り)。そして、人口  
が減少する社会においても

「**なるほどね。大きな目  
標に向かって中くらの  
期間の計画を立てて、毎  
年やることを見直してらん  
だね。ちなみに、市長が特  
に取り組みたいことは何?**



よく知っていますね。  
でも、まちづくりは、  
市だけで行えるものではあ  
りません。市民や事業者な  
どと連携しながら進めてい  
く必要があります。

「**ミヤリーも聞いたこと  
がある。星と星をつな  
いでできる星座のように、  
それぞれの特徴や機能を  
持ったまちや、生活の場所  
を公共交通などでつないだ  
行き来しやすいまちのこと  
だね。**



宇都宮がいつまでも発展  
していけるよう、みんなが  
集う拠点とそれらをバスや  
LRTなどで結ぶ「ネッ  
トワーク型コンパクトシ  
ティ」を造っていきたく  
いす。

「**…ふむふむ、ミヤリー  
のことを好きそうな学生さ  
んたちに直接お話聞いてみ  
るのもいいかも)分かった。  
ミヤリーも勉強してみる  
ね。**

また、市内大学の学生か  
らは「まちづくり提案」を  
もらっていますよ。将来の  
宇都宮を担う若い人たち  
が、日ごろ学校で学んだり  
研究したりしたことをもと  
に、自分たちの暮らすまち  
について、積極的に提案し  
てくれるのはありがたいこ  
とです。

ミヤリーも学生たちに  
会ってみてはどうですか。  
今後の活動のヒントをもら  
えるかもしれませんよ。





今回、ミヤリーは、「暮らしキラキラ☆未来も愉快<sup>ゆかい</sup>」をテーマに、市内大学の学生がまちづくりについて提案する「大学生によるまちづくり提案発表会2013」で1位に輝いた「まちづくりに貢献して愉快ポイントを貯めよう」を提案した「宇都宮共和大学高丸ゼミ」の田子冬美さんと、2012年のまちづくり提案をもとに、研究室で独自に取り組みを発展させた「震災がれき大谷石の再利用による休憩所」で、見事グッドデザイン賞を受賞した「宇都宮大学大学院安森亮雄研究室」の福田聖也さんの2人に、将来の宇都宮のビジョンを聞いてみたよ。

「まちづくりに貢献して愉快ポイントを貯めよう」について教えて

提案のアイデアを出し合っている時に、観光地のスタンプラリーを思い浮かべました。スタンプを集めるために楽しくいろいろな場所を巡る、これを市民の活動に置き換えてみてはどうだろう。そこで、みんなで考え付いたのが愉快ポイントでした。

「愉快」「助け合い」「地域課題の解決」に関する活動や取り組みに参加するとポイントが付与されて、しかも貯まったポイントは地域通貨として使えるというものです。貯めても使っても地域の活性化につながるという提案なんですよ。

なるほど。でも、市への提案なのにどうして「助け合い」をポイント付与に入れようと思ったの？

どんなに「愉快」なイベントがあっても、市民同士が助け合う住みよいまちで

田子 冬美さん(宇都宮共和大学)

東日本大震災の時、市外から電車で大学に通っていたため、家に帰れないのではと不安でした。けれどJR宇都宮駅に着くと「〇〇まで行くので同じ方面の人は同乗できます」という「逆ヒッチハイク」のサインを掲げて走る車を見て、このような状況下でも自分のことで誰かを助けようとする人の姿に感動し、また、そういう人がいる宇都宮を改めて好きになりました。



なければ、愉快には過ごせないですよ。一人ひとりが問題意識を持って、自分のできることでお互いに少しずつ協力し合えば社会はずっと暮らしやすくなると思います。例えば道路は行政でしか作れないけれど、道路をきれいに使ったりごみを拾ったりは誰にでもできること。私たち学生だったらイベントにボランティアとして参加する他、保育士の勉強をしていけばベビーシッターもできるかも。しかも、そのような活動に楽しみながら参加でき



▲提案ポスターとポイントカードイメージ

るような仕組みがあれば、みんな幸せで地域も経済活動も活性化するのはないでしょうか。

ね。市民がもっと輝いて暮らせる仕組みが田子さんの宇都宮ビジョンなんだ



▲お互いの意見が次の提案につながります

学生たちが考える

宇都宮

ビジョン

# Vision

震災時、県内で約9万トンもの大谷石のがれきが出ました。これらは、大半が粉砕処理されてしまいます。そこで、まだ使用可能なものを集積場から選別し、大谷石職人や工務店の協力も得ながら、施工まで自分たちで行いました。

「震災がれき、大谷石の再利用による休憩所」について教えて

昨年度のまちづくり提案で、私たちの研究室は、大谷石の廃材を再利用する仕組みづくりと、その大谷石を利用したまちなみ再生を提案しました。その一環で、大学の構内に、震災がれきの大谷石を150本使用した休憩所を設計・設置したところ、震災の記憶を留めた地元の景観という評価を受け、2013年度グッドデザイン賞(※)を安森亮雄先生と当時のプロジェクトリーダーだった佐原謙介さんが受賞しました。

「震災がれき、大谷石の再利用による休憩所」について教えて

## 福田 聖也さん(宇都宮大学大学院)

授業で旧帝国ホテルにも使用されたなど、大谷石についての知識は習ったけれど、実際に素材の質感や重さなどを体験し、さらに大谷石職人の技術も教わり奥深いと感じました。大谷石は、自然に触れている感覚を想起させ、人の居場所にふさわしい温かい感じが出ます。他の石でこの風合いを出すのは難しいと思います。



「震災がれき、大谷石の再利用による休憩所」について教えて

「震災がれき、大谷石の再利用による休憩所」について教えて

▲学生によるセルフビルド



「震災がれき、大谷石の再利用による休憩所」について教えて

※日本デザイン振興会が主催する、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動。

◎大学生によるまちづくり提案について詳しくは、うつのみや市政研究センターホームページ <http://www2.cityoffice.city.utsunomiya.tochigi.jp/miyaken/index.htm>へ。